



開館以来初めての試み 展示ゾーン無料開放 作品のない空間を音で響かせます

妹島和世氏と西沢立衛氏の共同設計事務所SANAA事務所が、この春ハイアット財団(アメリカ)より、権威ある建築賞として知られる“プリツカー賞”を贈られました。この受賞を記念し、その代表作である金沢21世紀美術館において、市民とともに喜びを分かち合うとともに、建築の視点からより広く美術館を発信するため、下記の通り『祝プリツカー賞「建築と音のアンサンブル」』を開催しますのでお知らせいたします。

貴媒体にて広く告知・取材いただくようお願い申し上げます。

タイトル	妹島和世+西沢立衛/SANAA プリツカー賞受賞記念事業 祝プリツカー賞「建築と音のアンサンブル」 Celebrating SANAA's Pritzker Architecture Prize: Ensemble for Sound & Architecture
日時	2010年9月5日(日) 13:00~18:00 (展示ゾーン無料開放は15:00~18:00)
会場	金沢21世紀美術館
料金	無料
主催	金沢21世紀美術館[(財)金沢芸術創造財団]、オーケストラ・アンサンブル金沢[(財)石川県音楽文化振興事業団]
協力	SANAA建築事務所、株式会社竹中工務店、株式会社マイブックサービス、株式会社メープルハウス
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL 076-220-2800

本資料に関する
お問い合わせ

金沢21世紀美術館 広報担当/落合、黒田 事業担当/近藤
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814(広報室) FAX 076-220-2806
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



概要

祝プリツカー賞「建築と音のアンサンブル」 奇跡の一日をみんなでお祝い

開館以来初めて、市民の方々へ美術館全館を無料で開放します。展覧会ゾーン(有料)と交流ゾーン(無料)を隔てるアクリル扉を開くことで館内の境をなくし、来館者は美術館の各部屋を自由に行き来することが出来ます。SANAAの設計した美術館建築の本来の美しさや展示室のさまざまな空間を、オーケストラ・アンサンブル金沢のメンバーの奏でる響きで楽しんでいただけます。

弊館国際アドバイザーでもあるオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督・井上道義と弊館館長秋元雄史の二人のアイデアから生まれたお祝いイベントです。

プリツカー賞とは 1979年設立。アメリカのハイアット財団から建築家に対して授与され、建築界のノーベル賞に例えられる。日本人の受賞は故丹下健三、槇文彦、安藤忠雄各氏に次ぐ快挙となった。

プログラム

① 妹島和世＋西沢立衛/SANAA 記念講演 「建築と環境について—近作を中心に」

SANAAの妹島和世氏と西沢立衛氏をお招きし、「建築と環境」をテーマにご講演をいただきます。トレド美術館(アメリカ・オハイオ)、ニュー・ミュージアム・オブ・コンテンポラリー・アート(アメリカ・ニューヨーク)、ローザンヌ連邦工科大学ラーニングセンター(スイス)、そしてルーヴル美術館ランス別館(フランス)など海外での近作や現在進行形のプロジェクトの最新状況をご紹介いただき、SANAA建築が創造するダイナミックな世界観のなかで、改めて金沢21世紀美術館の魅力に迫ります。

時間: 13:00~14:00

会場: 金沢21世紀美術館 レクチャーホール

定員: 80名(聴講申し込みの受付は終了しました)

※講演会ご取材の際は、前日9月4日までに広報室までご連絡下さい。

② お祝いの式典

OEKエンジェルコーラスの澄んだ響きのファンファーレで式典は幕開け

時間: 14:10~14:50

会場: 金沢21世紀美術館 本多通り口(東口) エントランス ※どなたでもご参加いただけます。

次第: 1) ファンファーレ(OEKエンジェルコーラス)「村祭り」

2) 山出保 金沢市長あいさつ

3) 秋元雄史 金沢21世紀美術館館長あいさつ

4) 受賞者あいさつ(妹島和世氏、西沢立衛氏)

5) 受賞者に記念品贈呈

6) 乾杯(井上道義 オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督)

7) オープニング曲演奏

金澤攝作曲「暑中見舞」

九重奏(ヴァイオリン3、ヴィオラ、チェロ、フルート、クラリネット、ファゴット、トランペット)

井上道義の指揮で、この日のために金沢在住の作曲家・金澤攝氏が書き下ろしたオープニング曲「暑中見舞」がはじまります、同時に館内あちこちにあるアクリル扉が開館以来初めて開かれ、来館者を展覧会ゾーンへと誘います。来館者は美術館の各部屋を自由に行き来することができます。

③ 音のギャラリーツアー

通常、展示室はアート作品を鑑賞していただく空間ですが、今回展覧会の入れ替え時に偶然できた1日を来館者のみなさんに開放し、建物とその空間を体感・鑑賞していただく1日限りの大変貴重な機会です。地元オーケストラ・アンサンブル金沢のメンバー38名が全14の展示室の大きさ、特性にあわせてソロから九重奏までの編成を作り、15分~20分のプログラムをそれぞれの展示室の音楽として演奏します。1ステージを1時間とし、各展示室から同時にあるいはつぎつぎに演奏が始まり音が流れていきます。

時間: 15:00~/16:00~/17:00~ の3ステージ

会場: 金沢21世紀美術館 各展示室 ※どなたでもご鑑賞いただけます。

出演: 井上道義 オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督(指揮)

オーケストラ・アンサンブル金沢

金澤攝(作曲・ピアノ)

OEKエンジェルコーラス

出演者プロフィール



(C) Benjamin Lee

井上道義 Michiyoshi Inoue

東京生まれ。桐朋学園大学にて齋藤秀雄氏に師事。1971年ミラノ・スカラ座主催グイド・カンテルリ指揮者コンクールに優勝して以来、一躍内外の注目を集め、世界的な活躍を開始。新日本フィル・京都市響音楽監督等を経て、現在オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督。1998年フランス政府より芸術文芸勲章を受賞他多数。2007年より金沢21世紀美術館国際アドバイザー。

**オーケストラ・アンサンブル金沢** Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、故岩城宏之が創設音楽監督のもと、日本初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠地とし、世界的アーティストとの共演による年20回の定期公演や、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約110公演を行っている。2007年1月より、指揮者の井上道義を新音楽監督に迎え、新たな活動を展開している。

**金澤 攝** Osamu Kanazawa

金沢市生まれの作曲家・ピアニスト。3歳よりピアノと作曲を始め、15歳で渡仏。18歳の時、知られざる名曲の発掘と紹介を生涯の指針と定めて帰国、以来独学。'1979年フランスのメシアン・コンクール第2位(1位なし)。1985年日本現代音楽コンクール 審査委員長(園田高弘)奨励賞。1991年村松賞大賞、金沢市文化活動賞等。現在300名を超える作曲家研究と演奏を行う。自作曲は130曲以上。

**OEKエンジェル・コーラス** Orchestra Ensemble Kanazawa Angel Chorus

1997年ウィーン少年合唱団金沢公演での共演をきっかけに結成。小学生から高校生までの石川県の子供たちからなる。その明るく澄んだ歌声には定評があり、OEKとの共演を中心に演奏活動をしている。

※当日は、本多通り口、総合案内横に、プレス受付を設けます。そこでプレス証をお受取りの上、ご取材下さい。
※取材の際は、フラッシュ、ライトの使用はご遠慮下さい。